

〈技術資料〉

多彩模様仕上げ窯業系サイディングのメンテナンス

Maintenance of High-grade Design Exterior Fiber Cement Siding

松野 英則、市村 道春

1. はじめに

国内の戸建て住宅の市場は、平成18年までは大きな伸びを示していたが、平成19年以降は建築基準法改正に伴う審査基準の変更、米国のサブプライムローン問題及び原油価格の上昇に伴う建築資材の高騰の影響で、新設住宅着工数が右肩下がりに減少している(図1)¹⁾。このような市場動向の中、建築業界では住宅リフォームに注力して、需要を伸ばしてきている。将来的には10兆円規模になると予想されている。その中でも注目すべき市場は、戸建て住宅の外壁塗替え需要である。戸建て住宅の外壁の大半は窯業系サイディングが占めている。近年では外壁の7割は窯業系サイディングが使われており、レンガ調など、高意匠で多彩模様の美しいサイディングが増えてきている。戸建て住宅に使用されているサイディングの意匠性も、フラットから高意匠へ移り変わり、塗料の役割も「素材の保護」だけでなく、「多彩模様仕上げによる美観」が求められている。

高意匠の多彩模様仕上げサイディングでは、多彩模様のエナメル層の上にクリアー層を塗装することによってエナメル層を保護している。経年でクリアー層が劣化して、エナメル層が露出する前に耐候性、付着性に優れたクリアー塗

2012年5月31日受付

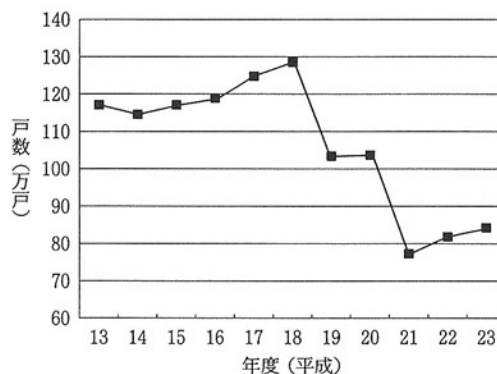


図1 新築住宅着工戸数推移

料を塗装することにより、クリアー層を復元して多彩模様の美しさをそのままに、長期間保護することができる。

本報では、このような多彩模様仕上げサイディングを長期に保護するメンテナンス方法として、アクリルシリコン樹脂クリアー塗料を補修塗装する施工方法を提案する。また、施工環境によって選択できる水系システムと弱溶剤系システムを紹介する。

2. 窯業系サイディングの遍歴

窯業系サイディングの歴史は比較的浅く、1970年半ばに商品化が本格化する。窯業系サイディングはセメント質原料や繊維質原料を成型し、養生・硬化させたものが一般的であり、組成的には木繊維補強セメント板系、繊維補強セメント板系、繊維補強セメント・珪酸カルシウム板系がある。1980年代までは、基材に下塗塗